



岡本眞利子 議員  
(政清会)



幕別町は帯広市に隣接し、ベットタウンとして市街地が拡大している札内地域、古くから行政の中心の幕別地域、酪農と観光が盛んな忠類地域と三極化しており、それぞれ地域性を生かした多面的な特色を持っている。

札内地域は、宅地造成が現在も進められており、忠類地域は住民の協力体制が確立されている。そこで幕別地域を考えると、市街地の住環境や地域コミュニティの維持など、地域活力の低下が懸念される。そこで以下の点について伺う。

- (1) 幕別市街地の現状と課題、今後の方向性は。
- (2) 市街地活性化基本計画の策定は。
- (3) 幕別市街地の空き地、空き店舗、街並みの再開発の考えは。
- (4) 商工会、周辺企業、商店街等と行政を含めた意見交換は。
- (5) 市街地にぎわいづくり等の支援事業の計画の考えは。
- (6) 幕別地域の人口減少と定住対策の新たな方策は。

**問 幕別市街地の活性化と過疎化対策を**

**答 雇用や定住、子育てなどに対する施策を盛り込み人口減少対策に取り組んでいる**

(7) 活性化、過疎化対策には様々な事業の取組が必要、優先事業は。

**町長** (1) 人口減少の著しい幕別市街地においては、若年層の定住対策が課題であると考えている。

これまでのマイホーム応援事業や空き地・空き家バンク、子育て環境の整備等を検証しつつ、町全体の活性化とその効果が幕別市街地に及ぶような活性化方策について検討したい。

(2) これまで、幕別駅前広場、幕別パークプラザや道道幕別停車場線、町道鉄道沿線道の整備をはじめ、本町地区に公営住宅を建設し、まちなか居住を進めるなど、環境整備に努めてきた。今後も、商工会や関係団体と歩調を合わせ、活性化に取り組みたい。

(3) 空き地・空き家バンクについては、協力宅建事業者への働きかけなど、情報整備に取り組む。空き店舗対策についても、さらなる情報提供に努める。街並み再開発は、現在、商工会において国道38号線

の整備のあり方を含めた商店街振興の議論が進められており、その議論の推移を見ながら、一定の時期に商工会や幕別本町地区商店街振興会などと議論を深めたい。

(4) 総代会や理事会、会員親睦会、合同新年会など、さまざまな機会を捉え、商工会、法人会、青色申告会などの役員や参加される会員の方々との交流の中で、幕別市街地の活性化に限らず商工振興全般に係るご意見を伺っている。

(5) 幕別市街地のにぎわいづくりを推進するため、どういった取組が有効であるか、どういった支援ができるのか、引き続き商工会や幕別本町地区商店街振興会、農協など関係団体とともに十分協議をしたい。

(6)、(7) 妊婦・産婦健診や子ども医療費の助成等、妊娠、出産、子育て期それぞれにおいて、子供を産み育てやすい環境を整備するとともに、マイホーム応援事業や空き地・空き家バンクによる移住・定住施策を行ってきた。今後、施策

の点検・検証を行い、事業の見直し等を通し、魅力あるまちづくりを行うことが重要であると考えている。また、観光事業も含めた「交流」により、本町を知っていただけでなく、活性化を図る上で大切であると考えている。

**再質問** 幕別市街地において、特に若年層の定住対策が重要である。本町市街地には新たな実効性のある施策の取組が必要であると考えるが見解は。

**答** 切り札がない中で、様々な施策を総動員していくしかない。商店街等の活性化も含めて、まちの魅力アップをしていくことが必要と考えている。



幕別駅前 (千代田通)